

この小径である。比較的平坦なところにあつて採集の容易だつた溝葉樹林は殆んど無く、手頃の高さだつた山腹の樹木は著しく成長して、繁茂する下草と、急な斜面との為に、ややともすれば足を奪われて、採集は次第に困難となつている。曾てミドリシジミやアカシジミの類を多量に採集出来たのも、一は比較的容易によりつける樹林が存したためでもある。初めてウスイロオナガシジミを見つけ出した杉の林（附近一帯にカシワ樹があり、シジミは下草に休んでいた。現在も附近のカシワ樹林に居る。）はずつかり伐り払われ、雑木の貯積場となつている。しかし、たとえ寄りつきにくくとも、両側の山の斜面が一面の緑樹に包まれていることは何よりも喜ばしい次第である。

昆虫の種類と個体とが減少してきたことは注意せね

ばならない。スジボソヤマキチヨウやスミナガシはここ両三年採集出来ないし、所によつてはサカハチチヨウも非常に少なくなつた。殊に本年は天候の加減か、度々の採集にも拘らず獲物は殆んど取るに足らない有様である。ウラジロミドリシジミは尙相當に産するが、他のシジミ類は急に減少したし、是非共慙しいと察めている Favonius sp. は遂に得られなかつた。六甲山麓のクボウラミスジヤ、元の県立三中附近のウラキンシジミのような悲しい運命を辿ることのないように念願してやまない。

採集コース

従来筆者がよく訪れたのは (1)久崎——大釜 (2)滝谷 (3)秋里川流域、長野滝 (4)大日山川。

昆虫の趨光性 (螢光燈と昆虫) (1)

田 口 勝 夫

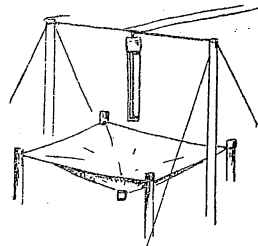
夜間活動性の昆虫、特に蛾類の趨光性を利用し、誘蛾燈を使用して、その日週変化を調査した記録は非常に多い。又、近年各地に普及した螢光誘蛾燈を使用しての昆虫採集や、來集昆虫の季節的変化の調査等、盛に行はれているが、野外で螢光燈に來集する昆虫を採集し、それを時間的に調査し、それに気象条件を結びつけて考えようとするとき、日々変化する昆虫相や刻々変化する気象条件を相手に如何に多くの記録を積みあげたところで、その記録と記録を結びつけ、即ち意味づけして、昆虫の趨光性を規定する因子や、その昆虫の特性について結論する事は殆ど不可能である。と云つて、野外の研究をなおざりにしたのは、研究の端緒も見出せなくなつてしまふ。

こゝに私が神戸市立妙法寺小学校自然教育学習園で行つた、夜間採集の結果を記し、皆様御叱正を、御願ひする次第であります。猶、この研究にあたり、便宜を計つて下さつた神戸市立妙法寺小学校長竹井石太郎先生その他同校職員に対し深く感謝の意を捧げます。

1. 採集方法

日没前、昆虫が燈火に飛来しない頃より螢光燈をつけ、夜が明け、虫が全く来なくなるまで來集する昆虫を採集する。來集した昆虫を採集するには、図の如く螢光燈の下に3m²の白布をうけ、布の中央に2cm²程の穴をあけ、その下に広口ビンをとる。來集して布の上に落ちた虫を、ホウキでその穴からビンの中

へ、はき込むのである。ビンの中には氷醋酸又は、氷醋酸とエーテルの等量溶液が少量入れてあり、中へ落ちた虫が死ぬよになつている。殺虫剤としては、青酸カリやホルマリンを使用するよりも、ずつと成績がよい。ただ、蛾類では、翅がぬれたり、中で甲虫類があばれたりして後に分類するのに非常に困ると云ふ難点がある。



來集して螢光燈のまわりを飛翔している昆虫は、捕虫網ですくい、ビンの中に入れる。採集した虫は時間的に調査するため、ビンは半時間毎に新しいのとりかえる。このような方法で採集するので、勿論一人で行う事は出来ないが、來集した昆虫を殆ど一匹残らず採集する事が出来る。使用した誘蛾燈は、マツダ誘蛾燈 FV-240B型のもので、周波数60 \sim 、電源電圧60-110V、消費電力30Wのものである。

2. 來集狀況

昆虫の來集狀況について、数多い夜間採集の結果の中から、8月、9月、10月、11月 (1950年) の各月代表的なものを、それぞれ一つづつ都合4回の夜間採集を記すと、次の如くである。

Table with columns for time (時刻), temperature (気温), humidity (湿度), wind direction (風向), wind force (風力), and insect counts (昆虫) for various species like アサギアオガムシ, コガタゲンゴロウ, etc.

Table with columns for time (時刻), temperature (気温), humidity (湿度), wind direction (風向), wind force (風力), and insect counts (昆虫) for various species like マルクビゴミムシ, コガタゲンゴロウ, etc.

Table with columns for time (時刻), temperature (気温), humidity (湿度), wind direction (風向), wind force (風力), and insect counts (昆虫) for various species like コキアオガムシ, コガタゲンゴロウ, etc.

